

# 患者受け持ち漏れ

## ■ 患者受け持ち漏れって何ですか？

日々の患者受け持ちは、看護師1人に対し、おおよそ7人の患者さんを受け持ちます。しかし、何らかの理由で、患者さんの受け持ちが漏れてしまうことがあります。

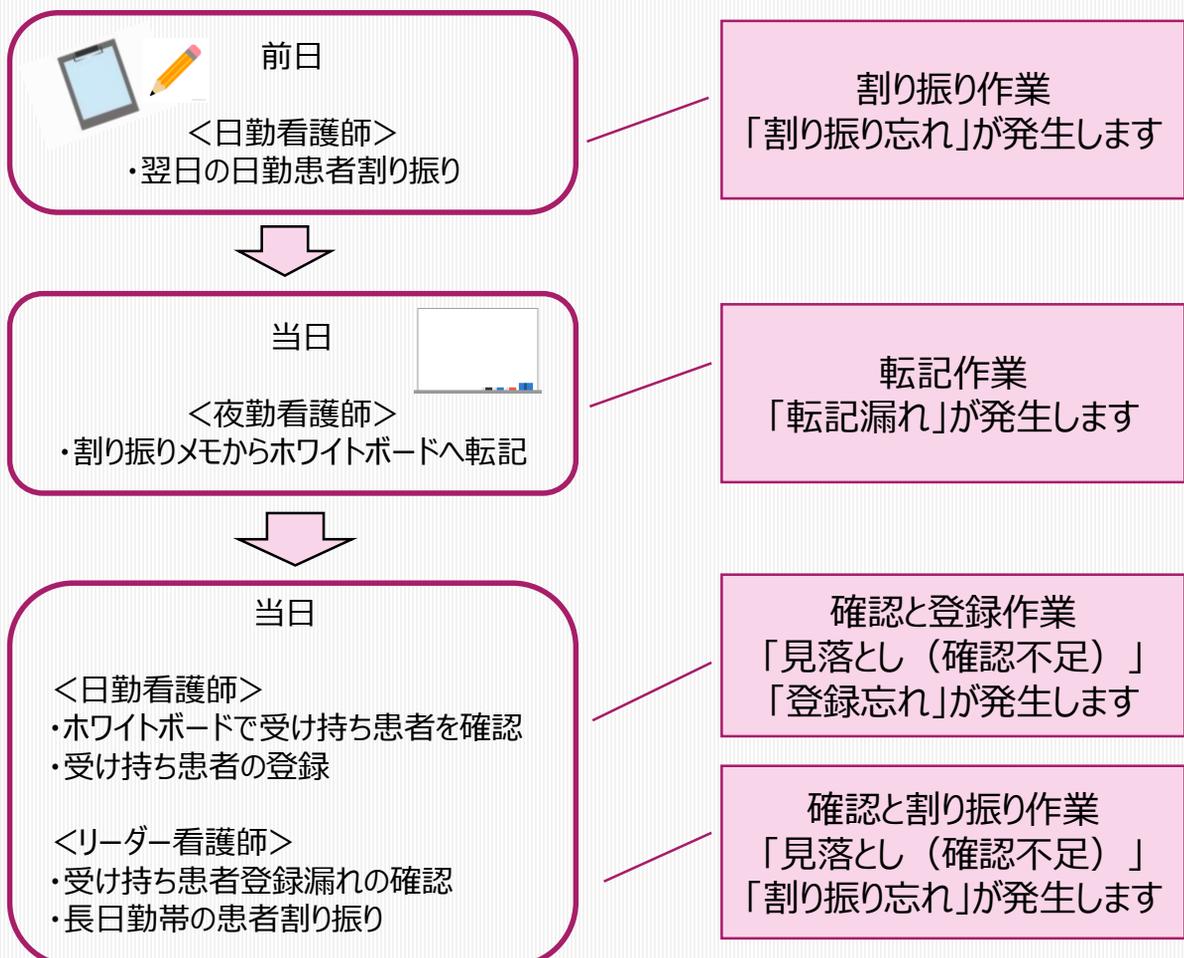
患者さんの受け持ち漏れが生じると、患者さんの状態の観察ができず、異常の発見ができなかったり、薬が投与されなかったりと、患者さんに不利益を与えてしまいます。

当院では、2016年より、看護部安全管理委員会と医療安全管理室が協同し、「患者受け持ち漏れゼロ」を目指し、対策に取り組んでいます。

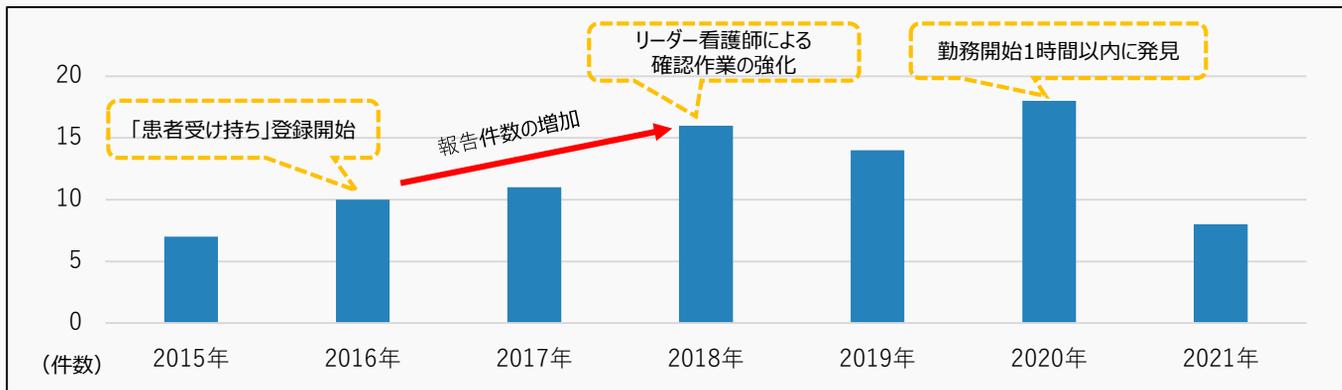
Q:なぜ受け持ち忘れが発生するの???



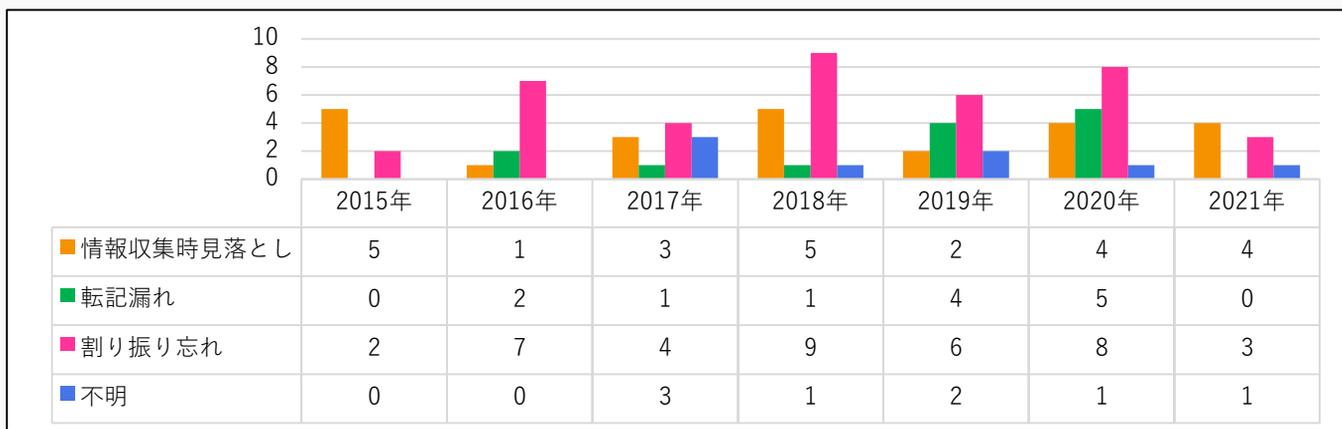
A:受け持ち患者を決める場面から、看護師が受け持ち患者を確認するまでの流れをみると、よくわかります。



## 報告件数



## 発生要因



## ■ 主な取り組み

### ◆ 2016年度

- 受け持ち漏れインシデントのデータ収集と分析をしました。
- 看護部安全管理委員会と協同し、受け持ち漏れ対策として、「受け持ち患者登録」を開始しました。
  - ※「受け持ち患者登録」は、電子カルテ内の「受持患者」のタブをクリックし、入院患者一覧から、勤務帯毎に受け持ち看護師氏名を入力し登録することです。
- 「患者受け持ち登録」の際は、以下のことを守るよう伝えました。
  - ①受け持ち看護師：勤務始めに「受け持ち登録」を行う  
他スタッフによる代行入力は不可
  - ②リーダー看護師：勤務開始後1時間以内に「受け持ち患者登録」に入力漏れがないか確認する  
入力漏れがあれば、受け持ち看護師に入力を依頼する  
すべての欄が埋まるまで確認を続ける

- ◆ 2018年度
  - ・ 受け持ち漏れインシデントのデータ収集と分析を継続しました。
  - ・ 2016年度から開始した「患者受け持ち登録」が、確実に実行されておらず、インシデント報告数が減少しませんでした。
  - ・ 再度、「患者受け持ち登録」について周知しました。その際、当初の目標であった「患者受け持ち漏れゼロ」の達成を目指し、まずは、「受け持ち漏れは勤務開始1時間以内に発見する」とし、リーダー看護師による確認作業の強化に取り組みました。
- ◆ 2020年度
  - ・ 受け持ち漏れのインシデント報告数は減少していませんが、受け持ち漏れが発生しても1時間以内に発見ができています。
- ◆ 2021年度
  - ・ 各部署の確認作業の強化により、受け持ち漏れインシデント報告件数が減少しました。

## ■ 課題と今後

例年、受け持ち漏れのインシデントが10件前後発生しています。2016年度から、受け持ち防止対策に取り組み、目標である「勤務開始1時間以内に発見」することができました。

受け持ち漏れがなぜ発生するのか？ 原因を分析すると、大きく4つの要因があることがわかりました。

①患者割り振り忘れ ②転記漏れ ③見落とし（確認不足） ④登録忘れ です。

この4つの要因について、さらに詳しく分析することで、受け持ち漏れを減少できると考えています。

今後も受け持ち漏れに関するデータ収集と分析を行い、対策に取り組んでいきますが、一旦、質指標としての資料は終了とします。